

# サポート隊通信

平成27年2月1日第6号



## 在校生・卒業生・地域皆様を繋げる レイカディア大学の実現を！

米原校サポート隊長 児玉 正孝

米原校サポート隊三期目スタート!!  
新隊長からのメッセージ

平成27年度からサポート隊も第三期に入りまし

た。昨年構築の二部会六活動体制を維持する中でサポート隊の役割りである

① 在校生の学習活動支援（講師手伝い含む）

② 在校生が卒業後、地域の担い手活動に自然体で入れるよう在学時から各住居地域の卒業生ボランティアア団体を知り繋がり活動を行う。

を意識して活動展開して行きます。行事では昨年の大学祭は一般入場者が五百人を超えました。行事内容の多様化

（卒業生の作品展示、各地の卒業生ボランティア演技紹介、子ども遊具設置など）の効果とも思われます。また、愛知川河畔林での筍を食する会も参

加者は前年の二倍となり盛況でした。

これらは、レイカディア大学卒業後、年次や学科の異なる卒業生と在校生との交流が図れるサポート隊の活動ならではと思えます。人生八十余年を迎え、現在では八十歳を過ぎても元気な人は学校入学さ

れていきます。より良い仲間づくりと向学心を求めている結果だと思えます



定期総会（10月24日）

遅くはありません。サポーターにご登録下さい共に楽しむサポート隊を構築しましょう。

ご一読の卒業生の皆さん

一方で、最近、少し気になりますことは無理のない範囲」を超えて皆様方の負担が大きくなり過ぎているのではないかと懸念しております。この無理のない範囲」で、できればサポーターという仲間同士でサポート活動をどうか楽しんでいただけるようになれば、なお一層、有り難いとも考えております。

今後サポーターの皆様には在校生の学びのための支援をお願いすると共に、本学発展のためのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

無理のない範囲で楽しくサポート活動を

レイカディア大学事務局 宿久博康

米原校サポート隊の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。



さて、サポート隊は平成23年に発足

し、はや四年目、第三期を迎えました。この間、多くの方々のご理解ご協力を賜ることができました。ここにあらためまして皆様方に厚くお礼申し上げます。

思い起せば、サポート隊が発足した当初は、どのような活動をどう進めていくのか、そのあたりはサポート隊も事務局も全く暗中模索の状態で、無からの出発でした。ただ、当時の基本的な考え方は、サポートを無理のない範囲でおこなう「これが基本であったことを覚えて

おります。あれから4年を経た現在、お蔭をもちまして在校生のニーズに応じた多種多様なサポート・メニューが

花開き、結実していることがわかります。このように振り返りますと、たいへん感慨深く、これも皆様方の大きなお力添えの賜と深謝申し上げます。

# 三期目の取組・活動方針

## 園芸学科

### 支援グループ長

山本 眞義

平成27年度は昨年と同様に在校生との交流支援を軸に講師およびレイカディア大学事務局と連携を密にしながら校外学習(剪定実習)等に積極的にお手伝いをしたいと思っています。

また、今年度は35期生のメンバー3名がサポート隊に加わり、総勢9名となり力強い限りです。

計画(案)として、甲良養護学校、米原青岸寺、伊吹菓



米原青岸寺剪定実習

草の里文化センターなどの樹木および果樹剪定、葉刈り作業の講師の補助員として、在校生の校外学習活動に協力していきます。レイカディア大学の理念精神に基づき「ボランティア活動」「地域の担い手」の活動を推進していきます。

## 北近江文化学科

### 支援グループ長

百田 勝彦

サポート隊として如何に在校生の皆さんと交流を計りレイカディア大学の目標である「地域社会での貢献」を果たしていくか、そのためには卒業後の活動が円滑に進められるよう在校生と卒業生が一体となって力を合わせる事が大切と考えています。

よって昨年に続き、今年も各期の方々に御協力いただき交流会を実施したいと考えております。支援グループ



現地散策(須賀神社)交流会

で検討した結果、卒業後の活動が円滑に出来るよう我々卒業生の活動も体験して貰う事にしました。交流会の一日午前は史跡訪問勉強会、午後は施設訪問ボランティア活動と楽しく過ごしたいと考えます。是非大勢の参加お待ちしております。

## 健康づくり学科

### 支援グループ長

居原 田金治

昨年の健康づくり学科担当グループへのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

サポート体制が新しく編成されて初めての行事として、遊びの中から絆を作る目的で

35期36期の学科長のご意見も聞き、担当グループ役員の皆さんでいろいろと模索しながら在校生の皆さんを中心に、手づくりのゲームで楽しむことが出来ました。



体を使った「ジャンケンゲーム」

27年度は開催時期を学期末より早く、6月から7月上旬で企画していきます。併せて、大学祭での体力測定も昨年に引き続きサポートしていきます。多くの方々のご参加とご協力をお願い申し上げます。

## 大学祭

### 支援グループ長

宮川 文雄

大学祭を通じて卒業生から今レイカディア大学では

この様なイベントを行っているから参加しようと呼びかけて貰って、レイカディアの「共に学ぶ、共に遊ぶ、共に生きる」の合言葉をPRして、多くの人々に、参加を促していただきたいと思っています。

昨年度の所感と反省や要望事項を記したいと思います。

① 展示作品は同窓会5支部にチラシを配布し、計画的な収集が必要。

② 卒業生のボランティア活動や親睦会の写真や展示品が有れば良かった。

③ 子供ゲームの景品(蛍光ペン)や紙芝居が良かった。

その他色々有りましたが、大学祭を盛大にする為、サポート隊全員のご協力をよろしくお願い致します。



フラダンスの披露

## 交流行事

### 支援グループ長

額 額 矩 久

講座支援部会の交流講座として出発した交流行事は今年で三期目を迎えます。担当グループとしてはまだまだ手探り状態で、今年何を行うかについては今のところ決めかねておりますが、5、6月の季節の良い時期に在校生、OB、地域住民の皆様と幅広く参加頂き、社会貢献と共にレイ大の知名度の向上やサポート活動の充実に寄与できるような行事を計画したいと思っておりますので皆様のご支援、ご協力をお願い致します。



取り立ての「筍と山菜」賞味（昼食）



パソコン教室

## 広報・情報部会

### 副部長

増 田 澄 男

年を経るにつれ、いろいろな場面に於いてパソコンを利用する時代となり、その活用をより身近なものにしたいと思えます。

広報・情報部会としてはサポート隊通信の発行による広報活動の充実をめざして鋭意努力、推進して参りたいと考えています。また今後の地域活動にも便利に役にたつパソコンの利用方法についてみんなで考え楽しく、パワーポイントなどいろいろな方向を手探りしながら、学習に励んで参りたいと思えます。

## 総務担当（事務局）

川 村 正 司

昨年に調整会議メンバーに加わり総務グループの役割を勉強させてもらいました。各部・グループの活動が円滑に展開されるように潤滑剂的に行動できればと思っております。地域でのボランティア活動もそうですが「楽しんで活動する」をモットーにシニア生活を過ごしています。同じように楽しみながらサポート隊を盛り上げられればと、思っています。昨年製作した「レイカディア大学の旗」があちこちで立っていることを夢見しています。宜しくお願ひします。



はためく「のぼり旗」

## 「現役生からサポート隊に望むこと」を聞きました

### 第36期 健康づくり学科 学科長 野村彰彦

昨年、健康づくり学科担当の皆様には、「現役生との交流ゲーム大会」の開催や、大学祭では「体力測定コーナー」を運営いただきました。また個人的には「ホームページの作成」など、パソコン教室に参加させていただきました。ただ同窓会とサポート隊の関係など、私自身、理解できていないことが多々あります。今後、サポート隊の皆様との交流のなかで、気が付くことがあればお願いしたいと思っております。

### 第36期 園芸学科 学科長 北村喜代嗣

私たち三十六期生も卒業まで残り一年足らずとなり、卒業後の身の処し方をどうしようかと考える時期となってきました。

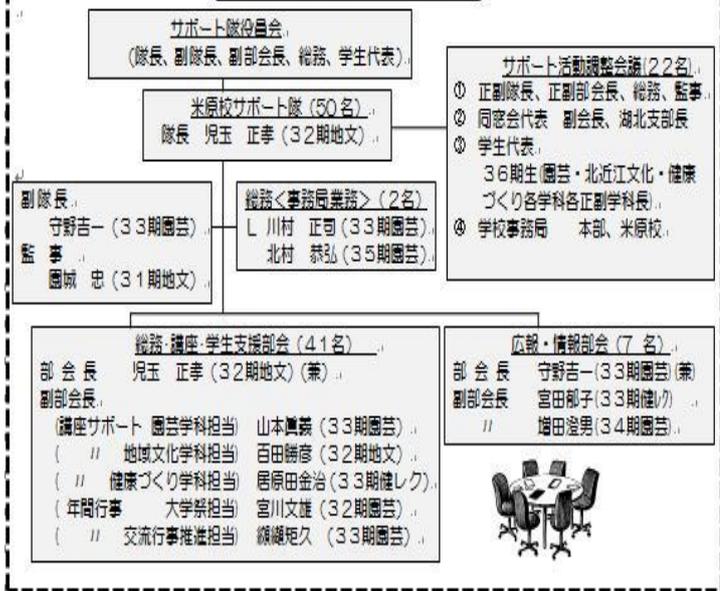
レイ大を卒業された方が、その後どのような地域で、どのような活動をされているのか、諸先輩方の具体的な活動事例を紹介していただけると卒業後の私たちの大きな指針になるのではないかと思います。宜しくお願い致します。

### 第36期 北近江文化学科 学科長 速水貞夫

レイ大に入学して1年3か月経過しました。北近江文化学科支援Gの方々和我々現役生との菅浦方面での交流会は印象に残っております。必須講座とは別に、選択講座内容の中で歴史講座が少ないという声が多数あつて入学して3カ月後、歴史サークルを発足、月一、二回程度米原公民館で歴史講座や学外研修を実施しています。中日新聞がそれを取材、二十六年七月十九日付朝刊に掲載されました。出来れば、支援グループ長とご相談の上、四半期に一回程度は活動計画を立てて共に行動したいと思えます。

# 資料編

## 米原校サポート隊（第3期）体制



## 部会別隊員数

部会	構成人数(名)		内新人
	企画	(支援)	
総務・講座・学生支援部会			
園芸担当	9	(5)	3
地域文化担当	10	(3)	4
健康づくり担当	8	(2)	2
大学祭担当	12	(全員)	4
交流行事推進担当	3	(7)	2
総務担当(事務局)	2	(-)	1
小計	44	(17)	16
広報・情報部会	7	(3)	2
<b>サポート隊合計</b>	<b>51</b>	<b>(20)</b>	<b>18</b>

ますます充実！  
新たに卒業生  
18名が参加！

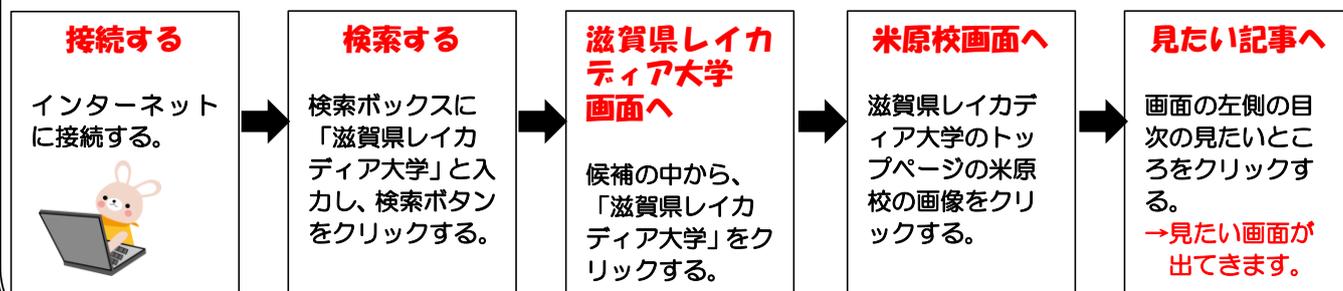
## 現在のレイカディア大学米原校

	36期生	37期生	合計	定員
園芸学科	27人	27人	54人	60人
北近江文化学科	17人	17人	34人	40人
健康づくり学科	15人	10人	25人	40人
合計	59人	54人	113人	140人

27人の定員割れ！！  
大学の魅力アップで  
定員数以上  
確保を！

## ワンポイント講座 ホームページの見方

簡単です。まず開いてみてください。在校生・卒業生が更新(アップ)しています。「こんなのが出たよ、更新されたよ」という情報を縦横に伝えて、閲覧を多くしましょう。



\* 「米原校」画面をお気に入りに登録するか、デスクトップに入れましょう。次回から便利です。

## 滋賀県レイカディア大学米原校 サポート隊通信

平成27年2月1日第6号

発行：滋賀県レイカディア大学米原校サポート隊

(広報・情報部会)

□米原市下多良 2-137(県立文化産業交流会館)

滋賀県レイカディア大学米原校内

□電話：0749-52-5110



通信6号は、隊長はじめ各部会リーダーの皆さんの熱い思いと、現役生からサポート隊に望むことなどをお届けします。レイカディア大学の事務局の宿久部長よりの言葉も頂いています。各位におかれましても、無理のない範囲で協力と自発的な活動を進めましょう。

あ  
と  
が  
き